

2016
BUSINESS REPORT

HAZAMA ANDO CORPORATION

平成29年3月期
第2四半期報告書

平成28年4月1日から平成28年9月30日



株式会社 安藤・間

(呼称：安藤ハザマ)

証券コード：1719

株主の皆様へ

目次	
株主の皆様へ	1
財務ハイライト	2
事業別の概況	3
連結財務諸表（要約）	5
経営指標	6
当社の概況と今後について	6
主な技術・研究開発	7
安藤ハザマNEWS	8
会社の概況	9
役員・株式の状況	10
株主メモ	11

表紙：安藤ハザマ 研修用宿泊施設「TTCつくば」

当社は茨城県つくば市にある技術研究所に隣接して「ものづくりをする人づくりの場所」をコンセプトとした研修用宿泊施設「TTCつくば」（TTC=Technology Training Center）を、設計・施工で建設しました。本施設はRC造・地上3階建・延床面積2,755.58㎡で宿泊用個室120室を完備、PCa工法を採用するとともに、当社の保有技術を積極的に活用しています。今年6月にオープンし、新入社員研修を皮切りに、さまざまな研修時の宿泊施設として利用されています。



代表取締役会長

代表取締役社長

小野 俊雄 野村俊明

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに平成29年3月期第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）の事業の状況について、ご報告申し上げます。

当連結累計期間は、国内景気の緩やかな回復基調が続く中、概ね計画を上回る成果をあげることができました。これも、ひとえに株主の皆様のご理解とご支援の賜物と感謝申し上げます。

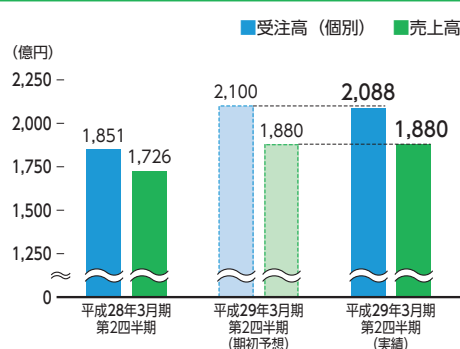
平成29年3月期の中間配当金につきましては、第2四半期累計期間の実績および今後の業績見通し等を踏まえ、1株あたり9円の間配当を実施させていただくことといたしました。

これからも「安藤ハザマ」は、現状に満足することなく果敢に挑戦し続け、新たな企業価値を創造してまいります。株主の皆様におかれましては、一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

受注高・売上高

個別受注高は2,088億円となり、期初予想には若干届かなかったものの、大型工事の受注等により前年同期比では237億円増加（+12.8%）となりました。

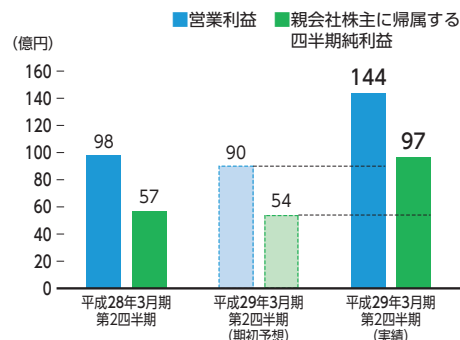
売上高は、国内工事が順調に進捗し、前年同期比で153億円の増加（+8.9%）、期初予想より微増の1,880億円となりました。



利益

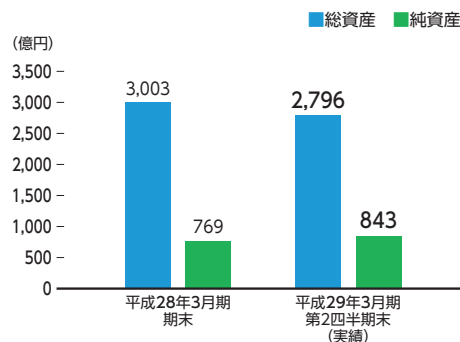
土木事業、建築事業ともに工事採算が向上したことにより、営業利益は前年同期比で45億円増加（+46.2%）し、期初予想を54億円上回り（+60.4%）、144億円となりました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比で39億円増加（+68.1%）し、期初予想を43億円上回り（+80.3%）、97億円となりました。



財政状態

資産は工事代金の回収により、受取手形・完成工事未収入金等が減少したことから、前期末比で207億円減少し、2,796億円となりました。負債は、支払手形・工事未払金等や未成工事受入金の減少により、前期末比で281億円減少し、1,952億円となりました。純資産は、利益剰余金の増加などにより、前期末比で73億円増加の843億円となり、その結果、自己資本比率は29.9%となりました。



事業別の概況

土木事業

受注高 **977**億円

売上高 **609**億円

営業利益 **104**億円

■受注高

受注高は、前年同期比で249億円増加（+34.2%）の977億円となりました。事業別の内訳は、官公庁67.1%、民間32.9%であり、海外工事は全体の0.1%です。

（注）受注高等は個別ベースで記載しています。

<主な受注工事>

発注者（敬称略）	工事名
東日本高速道路株式会社	東京外かく環状道路 東名ジャンクションランプ シールドトンネル・地中拡幅（南行）工事
中日本高速道路株式会社	東京外かく環状道路 東名ジャンクションランプ シールドトンネル・地中拡幅（北行）工事
国土交通省 近畿地方整備局	日高豊岡南道路上石トンネル工事

■売上高・営業利益

売上高は、前年同期比で22億円増加（+3.8%）の609億円となりました。営業利益は、前年同期比で30億円増加（+41.5%）の104億円となりました。

<主な完成工事>

発注者（敬称略）	工事名
中部電力株式会社	浜岡原子力発電所 防波壁設置工事 の内上部工工事（東工区）
川崎市上下水道局	施設再構築 生田配水池等更新工事



浜岡原子力発電所 防波壁設置工事の内上部工工事（東工区）
発注者：中部電力株式会社



施設再構築 生田配水池等更新工事
発注者：川崎市上下水道局

建築事業

受注高 **1,111** 億円
 売上高 **1,105** 億円
 営業利益 **55** 億円

■受注高

受注高は、前年同期比で11億円減少（△1.0%）の1,111億円となりました。事業別の内訳は、官公庁12.9%、民間87.1%であり、海外工事は全体の11.6%です。

（注）受注高等は個別ベースで記載しています。

<主な受注工事>

発注者（敬称略）	工事名
学校法人広島国際学院	広島国際学院高等学校校舎等改築工事
株式会社 ヤオコー	熊谷物流センター新築工事
大田原市	大田原市新庁舎建設工事

■売上高・営業利益

売上高は、前年同期比で60億円増加（+5.8%）の1,105億円となりました。営業利益は、前年同期比で12億円増加（+29.7%）の55億円となりました。

<主な完成工事>

発注者（敬称略）	工事名
一般財団法人 電力中央研究所	横須賀地区 新研究棟（仮称）新築工事
社会福祉法人幸生会	社会福祉法人幸生会 諫早療育センター建替建設工事
掛川駅前東街区市街地 再開発組合	掛川駅前東街区第一種市街地再開発 事業に伴う施設建築物建築工事（北棟）



広島国際学院高等学校校舎等改築工事
 発注者：学校法人広島国際学院



横須賀地区 新研究棟（仮称）新築工事
 発注者：一般財団法人 電力中央研究所

連結財務諸表 (要約)

連結貸借対照表

(単位：百万円、百万円未満切捨)

科 目	前期末 (平成28年3月31日)	当第2四半期末 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産	245,502	224,931
固定資産	54,865	54,676
有形固定資産	26,902	27,127
無形固定資産	1,900	2,176
投資その他の資産	26,063	25,373
資産合計	300,368	279,608
負債の部		
流動負債	186,903	160,400
固定負債	36,486	34,870
負債合計	223,390	195,270
純資産の部		
株主資本	73,439	81,653
資本金	12,000	12,000
資本剰余金	14,994	14,993
利益剰余金	46,500	54,960
自己株式	△56	△301
その他の包括利益累計額	2,714	1,948
新株予約権	10	10
非支配株主持分	813	725
純資産合計	76,978	84,338
負債純資産合計	300,368	279,608

連結損益計算書

(単位：百万円、百万円未満切捨)

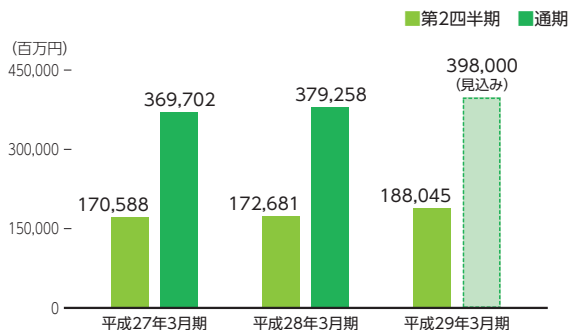
科 目	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	172,681	188,045
売上原価	153,167	162,872
売上総利益	19,513	25,172
販売費及び一般管理費	9,633	10,732
営業利益	9,880	14,440
営業外収益	300	517
営業外費用	1,259	1,727
経常利益	8,920	13,230
特別利益	136	3
特別損失	40	55
税金等調整前四半期純利益	9,017	13,178
法人税等	3,212	3,429
四半期純利益	5,804	9,748
非支配株主に帰属する四半期純利益	12	13
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,792	9,735

連結キャッシュ・フロー計算書

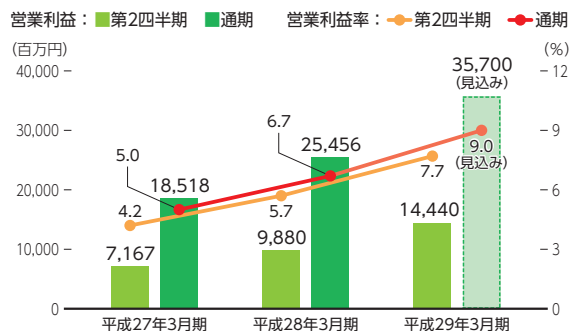
(単位：百万円、百万円未満切捨)

科 目	前第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	26,468	△17,494
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,472	2,574
財務活動による キャッシュ・フロー	810	805
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△507	△1,444
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	25,300	△15,559
現金及び現金同等物の 期首残高	79,558	106,935
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	—	48
現金及び現金同等物の 四半期末残高	104,858	91,425

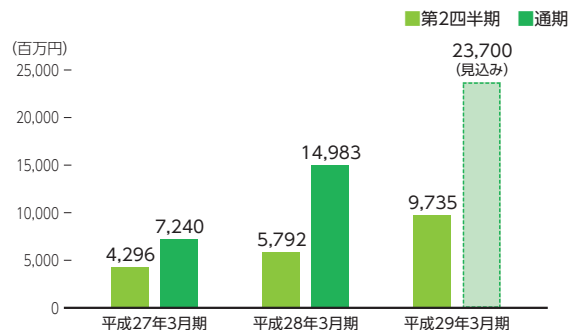
売上高



営業利益



親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益



わが国の経済は、個人消費に慎重な動きが見られたものの、緩やかに減少していた公共投資や民間投資についても堅調な動きとなり、企業収益も良好なことから雇用・所得環境が持ち直し、景気は緩やかな回復基調が続きました。今後についても、世界経済の不安などにより海外景気が減速し、国内景気を押し上げる懸念はあるものの、各種政策の効果を背景に、雇用・所得環境の改善が進展し、景気の回復基調が続いていくことが期待されます。当社グループの主たる事業である建設産業におきましては、民間建設投資に加えて政府建設投資についても増加傾向であることから、市場環境は堅調に推移しました。

このような状況のもと、当社は「持続的な成長を遂げられる会社」「やりがいとゆとりのある人生設計が実現できる会社」「社会と共存していける会社」「経営・財務基盤の安定した会社」を中期ビジョン「中期経営計画(2016.3期～2018.3期)」に掲げ、各種施策を進めております。

計画2年目となる今年度は、新たに開設した研修用宿泊施設の活用により人材育成策を一層強化するとともに、建設現場の生産性を向上させるために、ICT(情報通信技術)化を推進するなど、「持続的な成長」を意識した取り組みを加速させております。今後も、すべてのステークホルダーと「共に成長していく」関係の構築を目指し、計画を着実に推進してまいります。

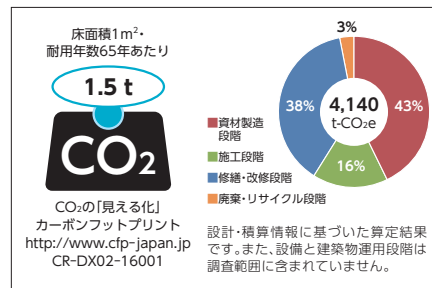


研修用宿泊施設で研修中の新入社員

■実建築物で日本初のカーボンフットプリント認証を取得

—カーボン・オフセットによる温室効果ガス削減対策も併せて実施—

カーボンフットプリントとは、商品等のライフサイクル全体を通して排出される温室効果ガスの排出量をCO₂に換算し、数値で「見える化」して表示する仕組みで、当社は、当社研修用宿泊施設「TTCつくば」で、実建築物では日本初となる「カーボンフットプリント宣言認定」を取得しました。建築物のライフサイクル各段階や項目ごとのCO₂排出量の「見える化」により、環境負荷低減への取り組みを推進し、低炭素社会の実現に貢献してまいります。



カーボンフットプリント算定結果の数値表示（見える化）

■厚幌ダムのCSG打設が完了

—台形CSGダムの高速施工を可能にしたCSG混合装置—

国内3例目となる台形CSGダムの「厚幌ダム」本体工事で、当社共同企業体は、実施工期間約8.5ヶ月という短期間で、約36万m³のCSG打設を完了しました。CSG（Cemented Sand and Gravel）は建設現場周辺で容易に得られる材料を簡易な混合により製造される材料で、当社開発の混合システムにより、品質確保、大量製造を実現しました。厚幌ダムは平成30年3月の竣工を目指します。

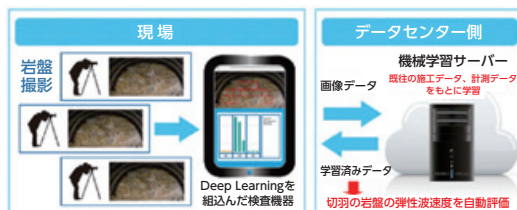


CSG打設が完了した厚幌ダム

■山岳トンネル切羽の地質状況を人工知能により自動評価

—建設現場にもAI活用時代の時代へ—

当社は、他社と共同で、トンネル切羽（掘削作業の最先端部）における地質評価の高度化・自動化を目指した「トンネル切羽AI自動評価システム」（特許出願：2016-146956）を開発し、施工現場における試験運用を開始しました。このシステムは、人工知能による画像認識技術を活用し、切羽写真から岩盤の工学的特性を自動評価するもので、今後は、このような人工知能活用技術を施工現場へ積極的に導入・展開してまいります。



トンネル切羽AI自動評価システムの概念図

■女性活躍へ 第1回「女性フォーラム」開催

今年4月、女性社員と男性管理職を対象にした「女性フォーラム」を初めて開催しました。女性社員のキャリアや働き方を改めて考える機会として企画したもので、当社の社外取締役である池田章子ブルドックソース株式会社代表取締役社長が、入社から社長に就任するまでのキャリアを振り返り、女性社員へエールを送りました。また、小野会長と池田取締役、女性社員による座談会を開催し、活発な意見交換を行いました。



池田取締役の講演

■約5か月間の新入社員研修を実施

今年4月中旬から約5か月間、茨城県つくば市の技術研究所内で新入社員120名を対象に、当社オリジナルの育成プログラム研修を実施しました。新入社員は約2週間の集合研修後、土木・建築に分かれて専門知識を学び、屋外実習で実際の「ものづくり」を体験しました。当社は、さらなる人材育成の充実に注力していきます。



屋外実習の様子

■「安藤ハザマ技術発表会 2016」を開催

今年7月、本社屋で技術発表会を開催し、約350名が参加しました。発表は全15テーマで、「厚幌ダムにおける台形CSGダムの超急速施工への取り組み」や「大規模複合施設における各種技術検討」など、さまざまな分野の技術・事例について発表を行いました。当社はこの技術発表会を、全社的に技術を共有する貴重な機会と捉え、さらなる技術力の向上を目指していきます。



技術発表会の様子

会社の概況 (平成28年9月30日現在)

- 商号 株式会社 安藤・間 (呼称：安藤ハザマ)
(英文名：HAZAMA ANDO CORPORATION)
- 設立 平成15年10月1日
- 資本金 12,000,000,000円
- 目的
 1. 土木建築その他工事の調査、測量、企画、設計、施工、監理、技術指導の請負、受託およびコンサルティング業務
 2. 工事用品および機械器具の供給
 3. 不動産取引および不動産、有価証券の保有ならびに利用
 4. 土壌の調査・浄化工事の請負、廃棄物の収集、処理、処分等の事業およびこれらに関するコンサルティング業務
 5. 地域開発、都市開発および環境整備等に関する企画、設計ならびにコンサルティング業務
 6. 発電および電気、熱等エネルギーの供給事業およびこれらに関するコンサルティング業務
 7. 建築の請負を伴う不動産関連の特別目的会社への出資および出資持分の売買、ならびに信託受益権の保有および販売
 8. コンピュータの利用に関するソフトウェア、工業所有権およびノウハウの取得、開発、実施許諾ならびに販売
 9. 前各号に付帯する事業
 10. 前各号に関連する事業を他と共同経営しまたは他の事業に投資すること

ネットワーク

■ 国内拠点

本社 〒107-8658 東京都港区赤坂6-1-20
☎03-6234-3600

首都圏建築支店 〒107-8658 東京都港区赤坂6-1-20
☎03-6234-3710

関東土木支店 〒107-8658 東京都港区赤坂6-1-20
☎03-6234-3730

札幌支店 〒060-0061 北海道札幌市中央区南一条西8-1-1
☎011-272-6500

東北支店 〒980-8640 宮城県仙台市青葉区片平1-2-32
☎022-266-8111

北陸支店 〒950-0082 新潟県新潟市中央区東万代町1-22
☎025-243-5577

静岡支店 〒420-8612 静岡県静岡市葵区追手町2-12
☎054-255-3431

名古屋支店 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内1-8-20
☎052-211-4151

大阪支店 〒553-0003 大阪府大阪市福島区福島6-2-6
☎06-6453-2190

四国支店 〒760-0040 香川県高松市片原町11-1
☎087-826-0826

広島支店 〒730-0051 広島県広島市中区大手町5-3-18
☎082-244-1241

九州支店 〒810-0041 福岡県福岡市中央区大名1-8-10
☎092-724-1131

技術研究所 〒305-0822 茨城県つくば市荻間515-1
☎029-858-8800

■ 海外拠点

タイ、ベトナム、マレーシア、インドネシア、ラオス、ミャンマー、カンボジア、ネパール、トルコ、メキシコ、米国、パナマ、ホンジュラス

当社のウェブサイトもご覧ください



<http://www.ad-hzm.co.jp/>

取締役および監査役

代表取締役会長	小野俊雄
代表取締役社長	野村俊明
代表取締役副社長	金子治行
取締役副社長 土木事業本部担当	肥後満朗
取締役副社長 社長室長兼管理本部担当	小島秀一
取締役副社長 建築事業本部担当	杉本文雄
取締役専務執行役員 建築事業本部担当	山崎光
取締役常務執行役員 名古屋支店長	菊地保旨
取締役常務執行役員 建築事業本部長	細渕英男
取締役常務執行役員 土木事業本部長兼社長室副室長	池上徹
取締役(非常勤)	藤田讓
取締役(非常勤)	池田章子
監査役	馬場義彦
監査役	平田公弘
監査役(非常勤)	上村成生
監査役(非常勤)	高原將光

- (注) 1. 藤田讓氏および池田章子氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。
 2. 上村成生氏および高原將光氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。
 3. 当社は、取締役藤田讓氏、池田章子氏、監査役上村成生氏および高原將光氏を株式会社東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

株式の状況

- 発行済株式総数 185,209,189株
- 1単元の株式数 100株
- 株主総数 37,745名
前期末比2,476名減

●大株主 (上位10名)

株主名	所有株式数	株式数比率
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	26,992千株	14.57%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	8,751	4.73
安藤ハザマグループ取引先持株会	6,774	3.66
株式会社みずほ銀行	6,476	3.50
BNYM TREATY DTT 15	3,294	1.78
資産管理サービス信託銀行株式会社	2,941	1.59
安藤ハザマグループ従業員持株会	2,698	1.46
朝日生命保険相互会社	2,616	1.41
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	2,544	1.37
JP MORGAN CHASE BANK 380634	2,518	1.36

- (注) 1. 上記の株式数比率は、自己株式252千株を含めて算出しております。
 2. 上記の所有株式数のうち、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社および日本マスタートラスト信託銀行株式会社および資産管理サービス信託銀行株式会社については、信託業務に係る株式数を把握しておりません。

●所有者別株式数分布状況



●株価の推移



●転換社債型新株予約権付社債の発行について

平成28年3月31日に「2019年満期円貨建取得条項付転換社債型新株予約権付社債」100億円を発行しております。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌3月31日
配当金受領株主確定日	3月31日（期末配当） 9月30日（中間配当）
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 http://www.tr.mufg.jp/daikou/
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711（通話料無料。オペレーター対応） 受付時間 土・日・祝祭日等を除く平日9時～17時
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部（証券コード 1719）
公告の方法	当社ホームページに掲載します。 公告掲載URL http://www.ad-hzm.co.jp/ir/announce.html ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載いたします。

株式に関する手続きについて

お手続きの内容	お問い合わせ窓口	
<ul style="list-style-type: none"> ・届出住所等の変更届 ・配当金の振込指定 ・単元未満株式の買取・買増請求 ・その他株式に関するお問い合わせ 	証券会社に口座をお持ちの株主様	口座を開設されている証券会社 ※株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできません。
	証券会社に口座をお持ちでなく、特別口座で株式を保有されている株主様	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ※電話番号などは下記「特別口座に関するお問い合わせ窓口」欄をご覧ください。

※旧安藤建設の株主様で、特別口座に株式を保有されている株主様については、平成28年2月1日より特別口座の口座管理機関が三菱UFJ信託銀行に変更されました。

特別口座に関するお問い合わせ窓口

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話0120-232-711（通話料無料。オペレーター対応） 受付時間 土・日・祝祭日等を除く平日9時～17時 ※三菱UFJ信託銀行の本店・各支店でもお取り扱いいたします。 ※各種お手続き用紙のご請求は、以下の専用ダイヤル・インターネットでも24時間受け付けております。 【専用ダイヤル】0120-244-479（通話料無料。音声自動応答） 【インターネット】 http://www.tr.mufg.jp/daikou/
------------------------	---



ユニバーサルデザイン(UD)の考え方にに基づき、より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。